

2021年度授業 スタートアップガイド④

授業サポートプロジェクトチーム



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスで提供されています。本資料を利用する場合には必ず出典を明記していただきますようお願い致します。

今のまま授業を受けて、
本当に大丈夫？

2021年度授業スタートアップガイド①～③を 先に確認してください

- 本資料をご覧になる前に、「2021年度授業スタートアップガイド①～③」を先にご覧ください
- 「2021年度授業スタートアップガイド①～③」の内容
 - ・ 遠隔授業がどういったものか（ガイド①）
 - ・ 授業を受けるにあたって必要なもの（ガイド②）
 - ・ 遠隔授業を受ける際のレイアウト例（ガイド③）

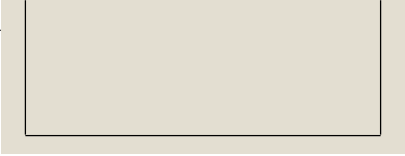
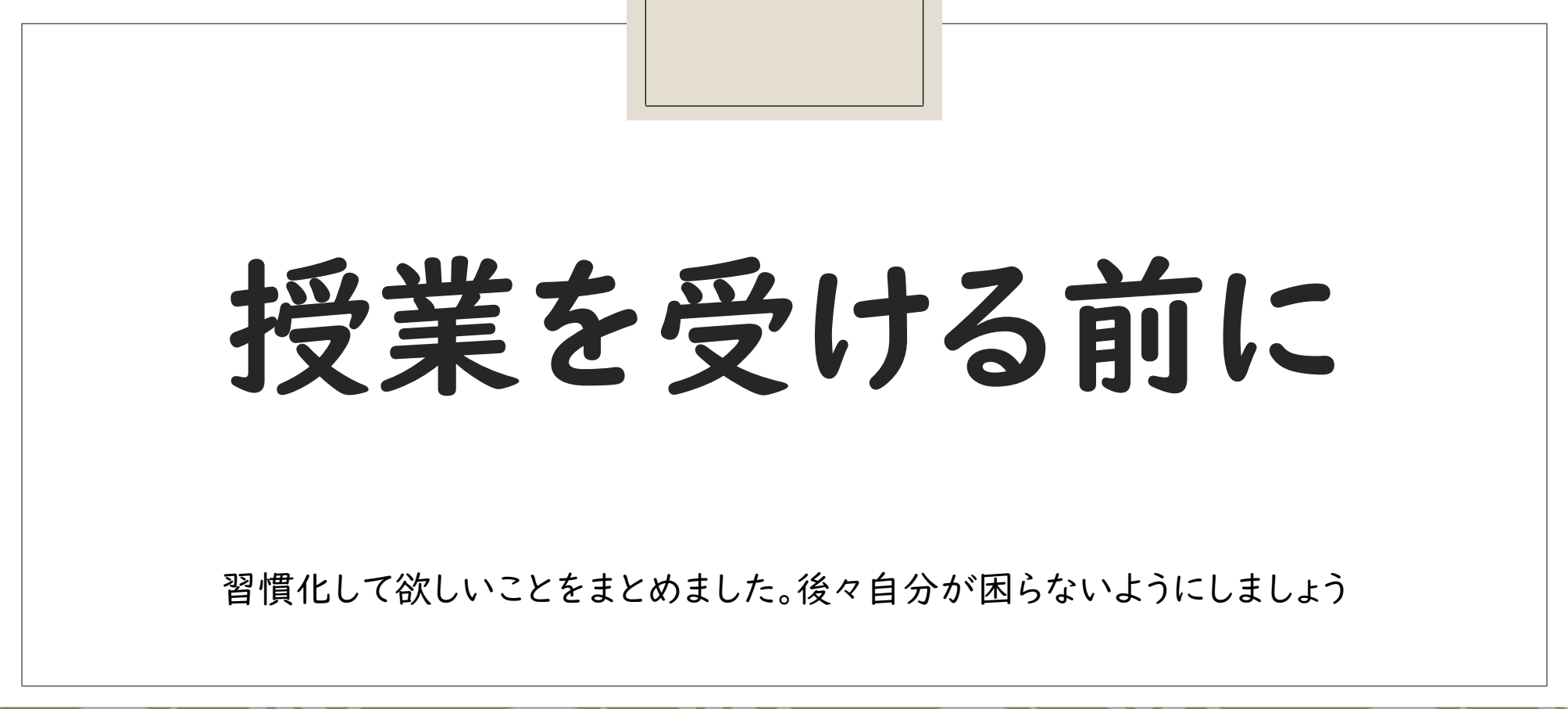
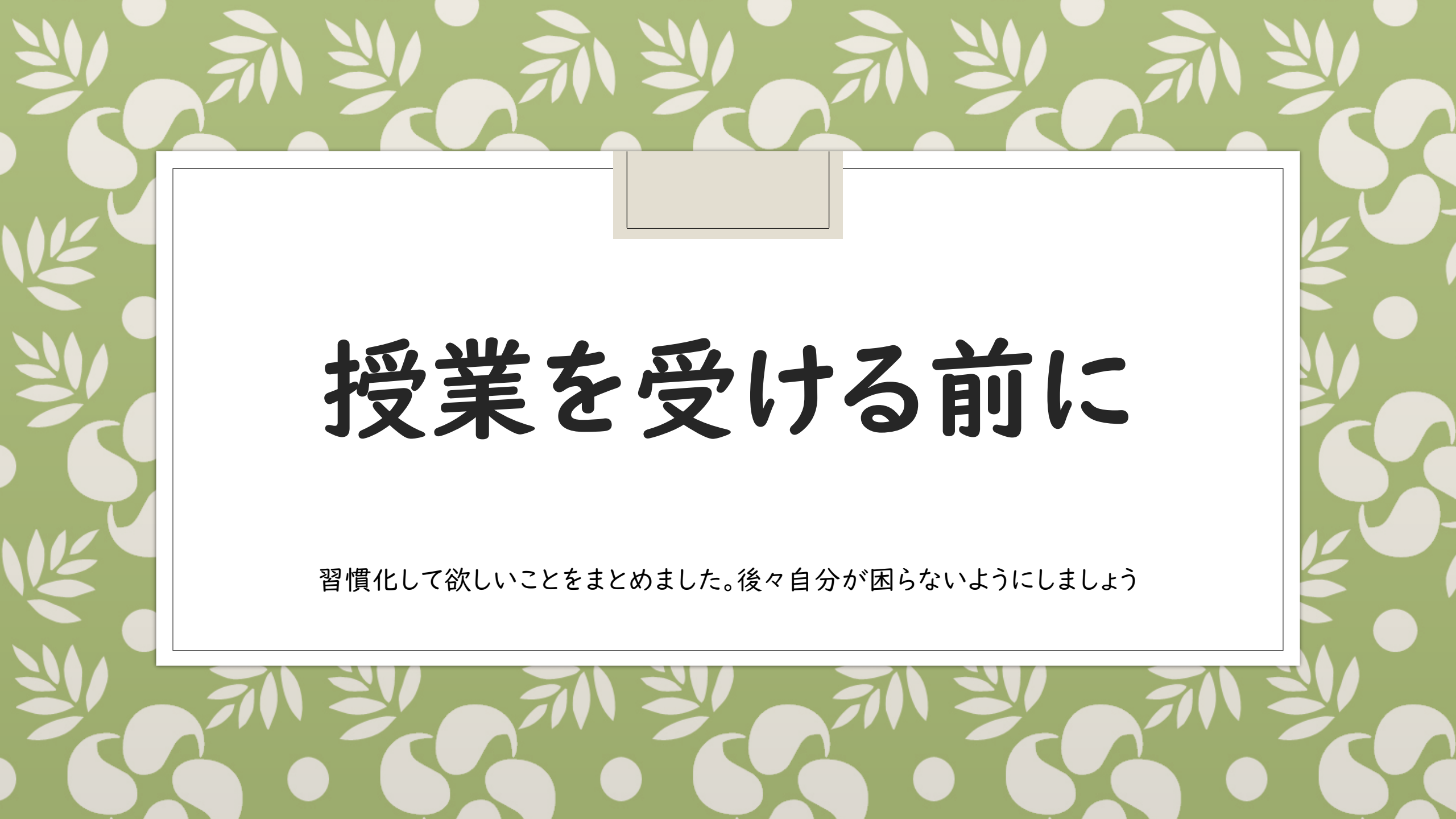
受講前準備 チェックリスト

- 右のチェックリストで、「項目」に書かれている内容を確認し、内容の理解に問題なければ、チェックを入れてください
- チェックが入らなかった項目は、「⇒」で示されている資料を確認してください

☒	項目	要確認
	遠隔授業がどんなものか イメージできる	⇒ 2021年度授業 スタートアップガイド①を 確認してください
	授業を受けられるための 環境や必要なものの 確認ができています	⇒ 2021年度授業 スタートアップガイド②を 確認してください
	授業を受けられる 机のレイアウトを 知っている	⇒ 2021年度授業 スタートアップガイド③を 確認してください

今後の授業の受け方を確認しましょう

- 今回の内容は、今後の遠隔授業を受けるにあたっての大前提となる部分を説明します
- 遠隔授業は対面授業と異なり、注意すべき箇所も変わります
- 皆さんが安心して、授業を受け、勉学を修めるためにも必ずご一読をお願いします



授業を受ける前に

習慣化して欲しいことをまとめました。後々自分が困らないようにしましょう

遠隔授業のカギは「トラブル対応力」と「助け合い」

遠隔授業となり、分からないこと、不安なことが多いと思います。
ただ、受講するにあたって心に留めておいて欲しいことがあります。
それは、「トラブルは誰にでも起きる」ということです。

どれだけ環境を整えて備えていても、予想できないトラブルは
授業をする側も受ける側も、誰にでも突然起こるものです

そんな時大事ななのは、慌てずにトラブルの解決策や次善策を探る
「トラブル対応力」です

授業中にトラブルが起きても、慌てずに全員で力を合わせて
より良い解決策・次善策を探しましょう

みなさんへのお願い



提供される情報を
しっかり「読む」



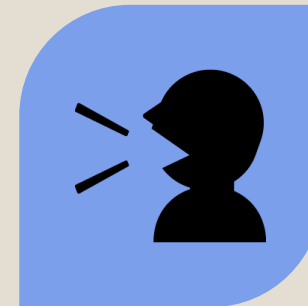
分からないことは
先生や友人に「聞く」



自分なりにできることを
「やってみる」



授業に積極的に
「参加」



議論の場では自分の
言葉で「話す」

みなさんへのお願い



提供される情報を
しっかり「読む」

大学や先生から提供される情報（お知らせや資料）は
きちんと「読む」ようにしましょう。

資料を読んだ“つもり”になっていませんか？
「わからないと思ったことが、
実は資料に明記されていた」
ということは多いです。

今一度、質問をする前に提供されている情報を
確認しましょう。

授業に積極的に
「参加」

言葉で「話す」

みなさんへのお願い



提供される情報を
しっかり「読む」



分からないことは
先生や友人に「聞く」



授業に積極的に
「参加」

分からないこと、上手くできないことがあれば、先生や友人に聞いてみましょう。

一人で悩んで
分からないことが
分からなくて
質問できなくなる前に
聞きましょう。

議論の場では自分の
言葉で「話す」

みなさんへのお願い



提供される情報を
しっかり「読む」

ZoomやMoodleなどを使用する時に、
知らないこと、分からないことが
出てくるでしょう。

まず、自分なりに
できることをやってみましょう。

CGWで資料が載っていないか確認し
たり、ネットで調べてみたりしましょう。
それでも分からないことは、前述した
ように先生や友人に聞きましょう。



自分なりにできることを
「やってみる」

授業

は自分の
話す」

みなさんへのお願い



提供される情報を
しっかり「読む」



授業に積極的に
「参加」

大学での授業は、
先生と学生で作るものです。
学生の受講態度や
課題の取り組み方次第で
良い授業にも、悪い授業にも
なります。

先生の話に対して頷いたり、
アイコンで反応したりして
積極的に授業に参加しましょう。

先生の話を自分の
言葉で「話す」



なりたいことができることを
「やってみる」

みなさんへのお願い



提供され
しっかり



は先生
く」

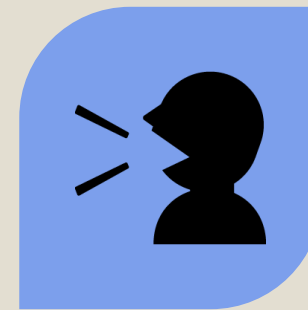


自分なりにできることを
「やってみる」

議論が求められる授業もあります。
あなたが何をどう考えて、
どうしたいのか、を
問われることもあります。

議論の場では、
自分の考えを、自分の言葉で
伝えましょう。
正解はありません。

「参加」



議論の場では自分の
言葉で「話す」

分からないことを聞くタイミング

自分なりにやってみて困ったらすぐに聞きましょう



分からないことについて
調べてみる



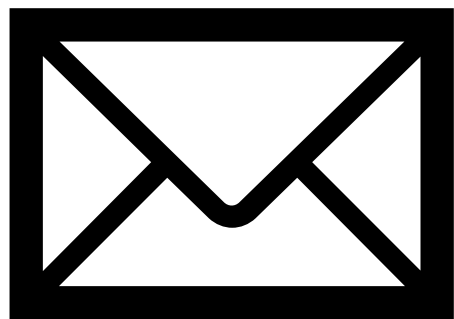
いまいち上手く
対処できない

ここで聞く!



分からないことが分らなくなる
先生も対処が大変

こうなる前に聞く!



Office365メール

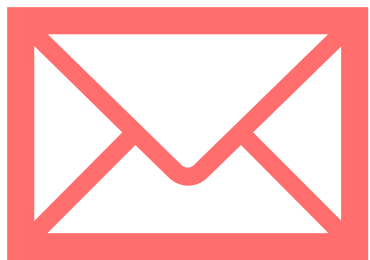


Moodle



キャンパスガイドウェブ

確認しましょう！



Office365メール



Moodle



キャンパスガイドウェブ

確認
しましょう!

Office365メールを確認する習慣を付けましょう。
大学からの重要な連絡や、提出物に関すること、
次回の授業についてなどが送られることがあります。



Office365メール



Moodle



キャンパスガイドウェブ

確認
しましょう!

授業で使用するZoomなどのIDやURLが掲載されることがあります。

また、授業で使用する資料がアップロードされることがあります。



Office365メール



Moodle



キャンパスガイドウェブ

確認
しましょう!

学生のみなさんに関連するお知らせや資料が
掲載されます。

遠隔授業の形態を知りましょう

- 遠隔授業には様々なパターンが想定されます
- 代表的な2つを紹介します

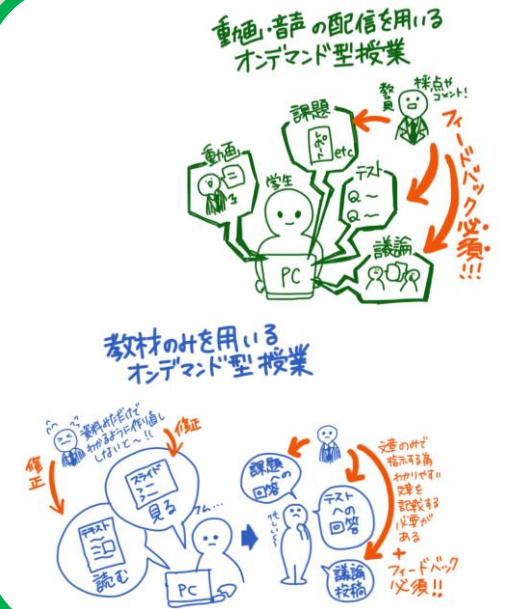
同時双方向型

リアルタイムで行われる形態
対面授業をインターネット上でやっている状態



オンデマンド型

動画などを配信し、好きな時間に学習する形態
1回の授業ごとに課題等が課される



オンデマンド型の特徴・注意点を次のページで説明します

オンデマンド型の特徴・注意点

オンデマンド型の特徴

- 任意のタイミングで授業を受けることができる
- 授業を受けた後に、課題やテストに取り組む必要がある
- 授業の内容を受けて、ディスカッションを行う必要がある

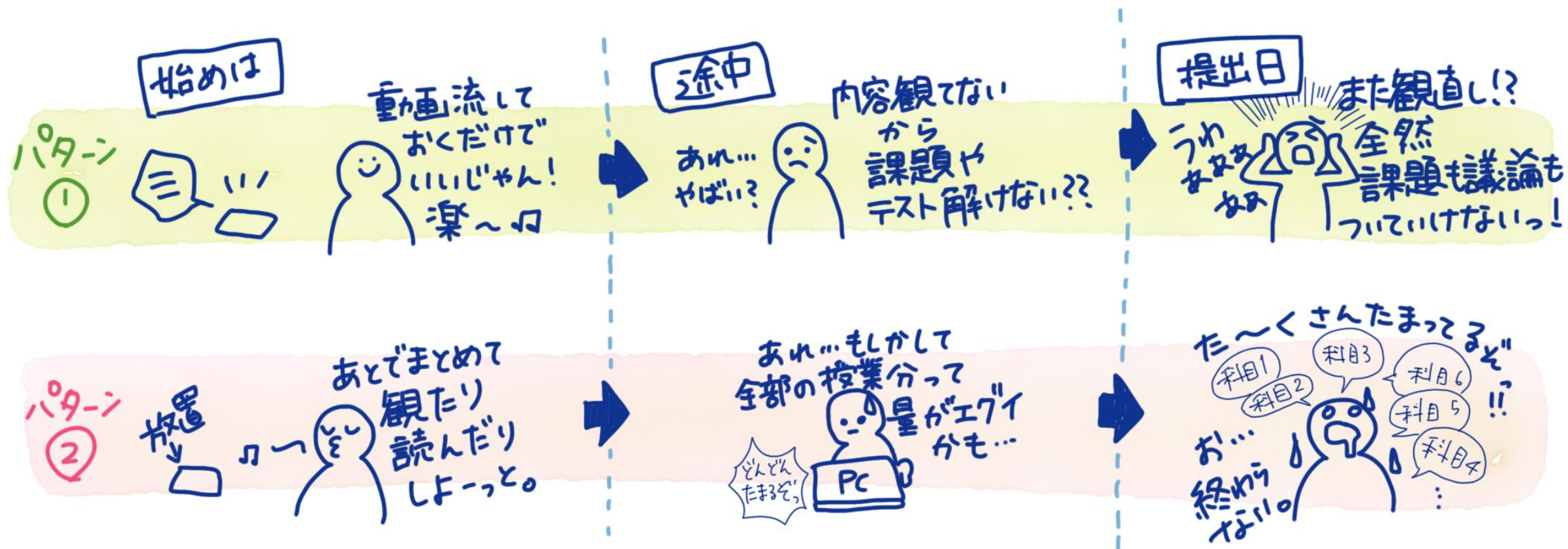
オンデマンド型の注意点

- 任意のタイミングで授業を受けられますが、毎週授業は増えます
- 公開された授業は、公開された週に見ましょう

たくさんの授業がオンデマンド型になる可能性があります。公開された都度見ましょう。

課題の提出に間に合わなかったり、ディスカッションについて行けなくなることが想定されます。

遠隔授業よくある言動



こうならないように、公開される都度、しっかり授業を受けましょう

予習・復習も含めた学習習慣を身につけましょう

授業をちゃんと受けた上で、予習・復習をしましょう

。予習

- ・事前に授業で使用する資料がMoodle上にアップロードされているときがあります。資料に目を通しておきましょう。
- ・また、教科書等を使用する授業では事前に教科書を見ておくことで授業の理解が深まります。

。復習

- ・授業の動画や取ったノートなどを元に授業内容を振り返りましょう。
- ・課題で分からなかったことは調べたり、担当教員に質問しましょう。



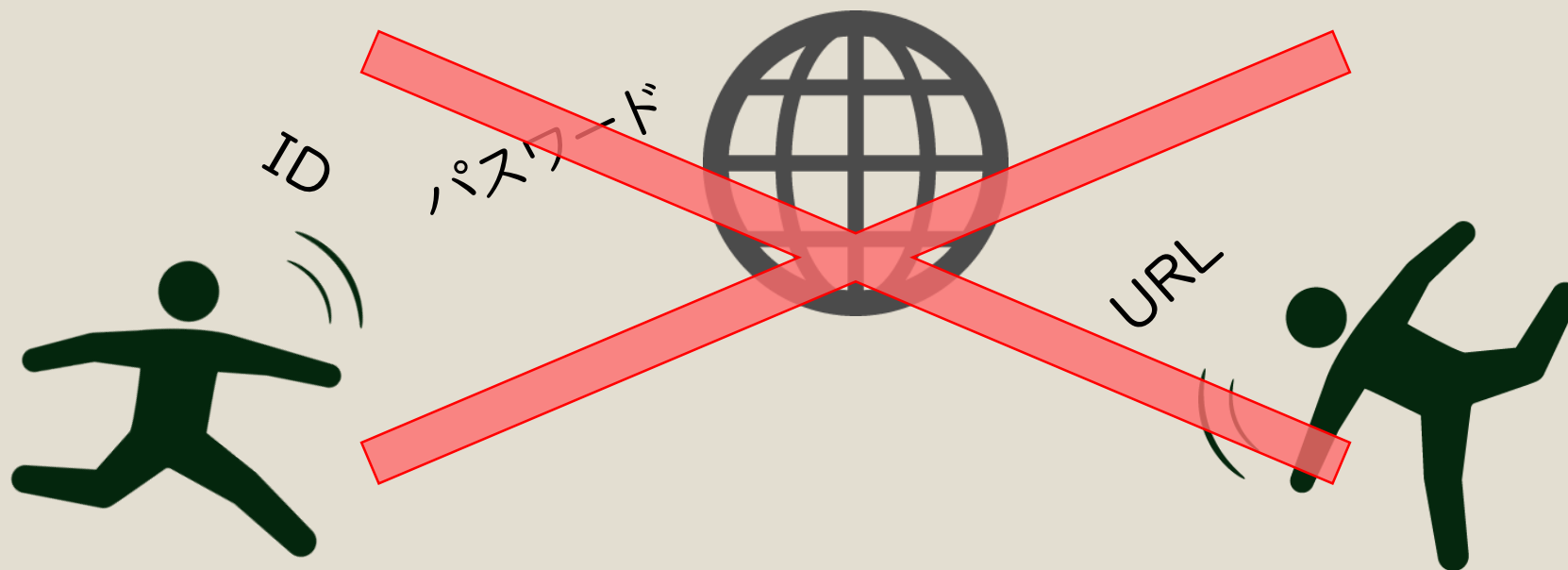
授業の約束事

授業を受けるための約束事があります

禁止

ZoomのミーティングIDやパスワード、URLの管理について

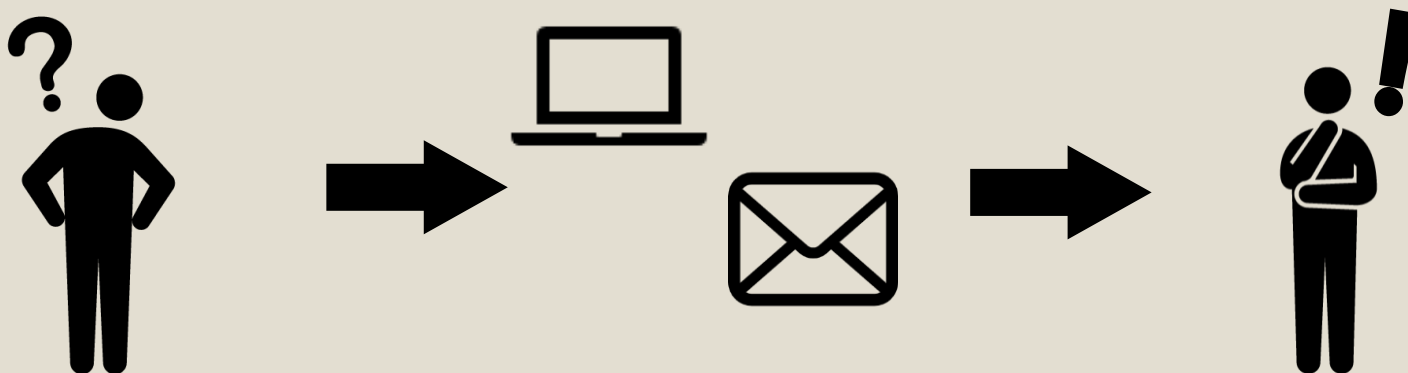
- ZoomのミーティングIDやパスワード、URLを他者に教えるのは**禁止**です。
- TwitterやInstagramなど不特定多数の人が閲覧できるものはもちろん、友人等に教えることも避けてください。



禁止

ZoomのミーティングIDやパスワード、URLの管理について

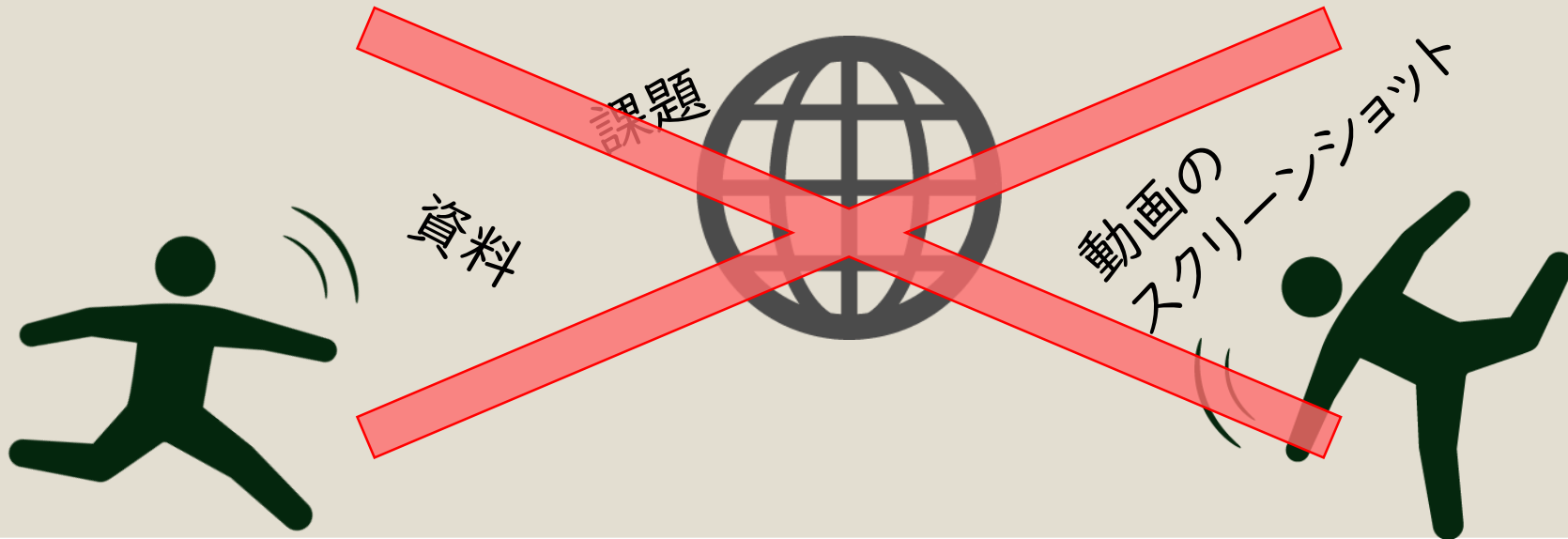
- 教えて欲しいという人がいても、ミーティングIDやパスワード、URLそのものを教えるのはやめましょう。
- ZoomのミーティングIDやパスワード、URLはMoodleやメールで受講者全員に知らされます。
- 受講者がミーティングIDやパスワード、URLを知らないということは基本的に起こりません。
- 教える場合は、ミーティングIDやパスワード、URLがどこで確認できるかだけを伝えましょう。



禁止

授業で使った資料(動画含む)の取り扱いについて

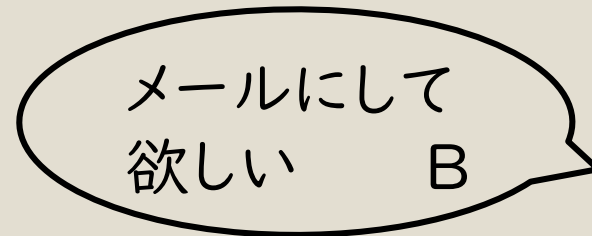
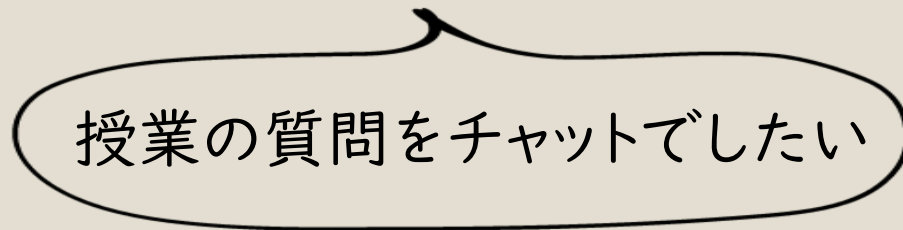
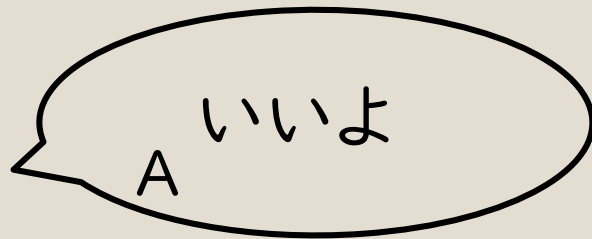
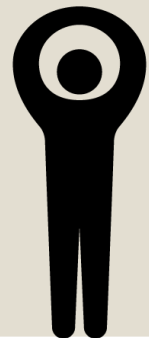
- 授業で使った資料をTwitterやInstagramなどのインターネット(以下ネット)上にアップロードしないでください。
- 資料の「一部分だけ」、授業の「課題だけ」、であったとしてもネットへのアップロードは禁止です。友人にあげるのも禁止です。



受講のルールを守りましょう

- 1回目の講義で、ZoomやMoodleなどの利用のルールが提示されることがあります。
授業の円滑化のためにもルールを守ってください。
- 科目担当の先生によって受講ルールは異なります。
A先生が「良い」と言ったことがB先生では「ダメ」と言うことがあるということです。

例)



マイクは基本ミュートにしましょう

- ミュートにすることで、環境音などが授業に反映されなくなります
- **必要な場合のみ、マイクをオン**にしましょう



環境音が他の受講者に伝わってしまい
意図しない授業妨害になることも



環境音が他の受講者に伝わらないので
受講者全員が安心して受講できます



授業の注意事項

授業を円滑に行うために注意して欲しいことがあります

コミュニケーションの難しさを考慮しましょう

- 対面式授業よりも、学生－先生間、学生－学生間のコミュニケーションが難しくなります
- 先生も学生のリアクションが分からず、授業が進めにくいと感じることもあります
- 授業で決めた「受講のルール」に沿って、適宜リアクションしましょう

例)「拍手👏」や「賛成👍」のアイコンの送信
(カメラの使用中的時)大きくうなずく
などなど

リアクション例) アイコンの送信

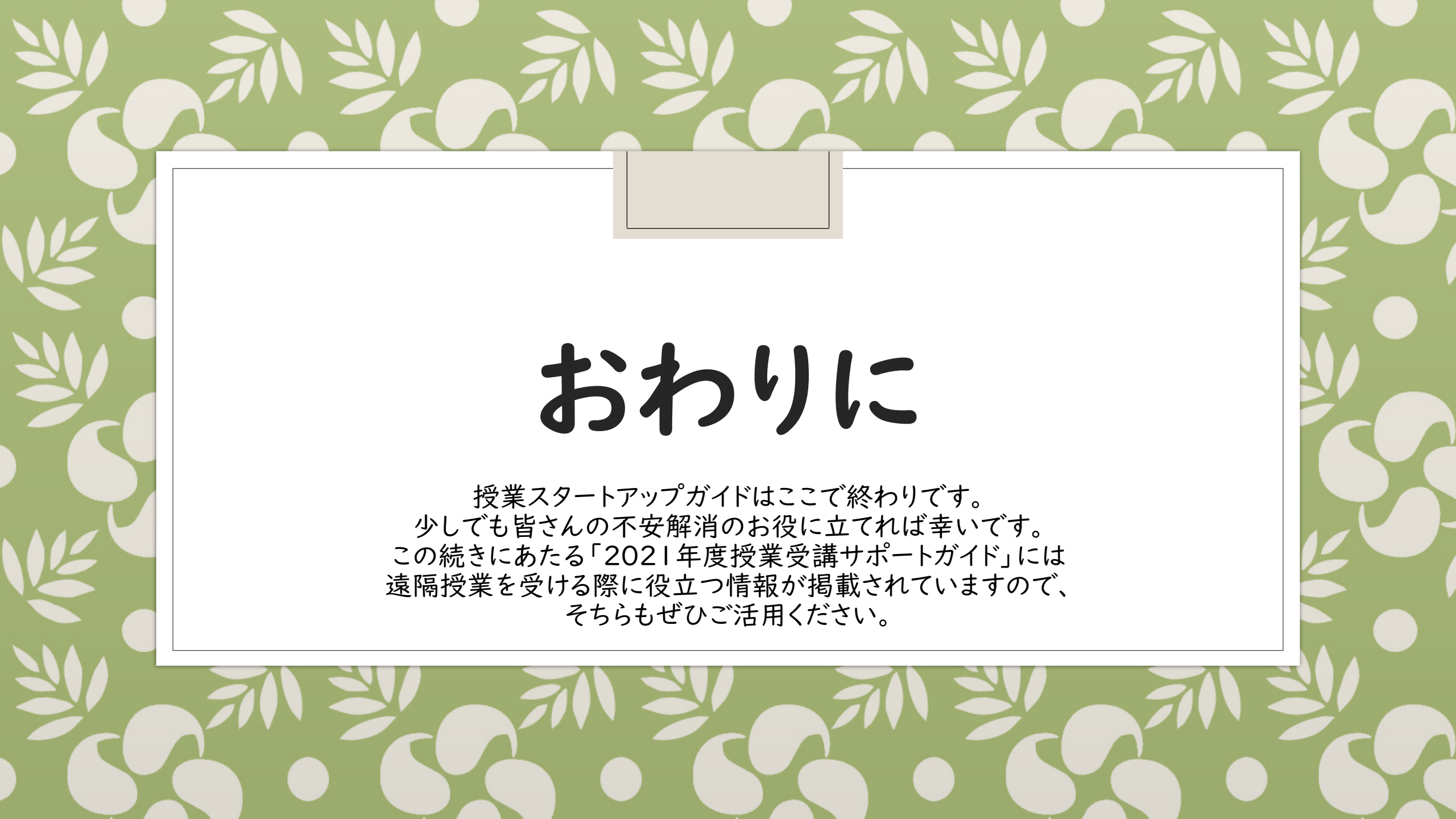




注意

プライバシーを守るために

- カメラに写りこむ背景に注意しましょう。
 - 写りこんだ背景から、どこにいるかを特定できることがあります。
 - バーチャル背景を使用できます(Androidは一部機種のみ対応)。
 - 部屋の壁が背景になるようにする等の工夫をしてください。
 - カメラで自分を写したくない人は、科目担当の先生と相談してください。
- 授業中の様子のスクリーンショット等は先生の許可なく行わないでください。
ネット上にアップロードするのはもっての他です。
 - 個人が特定できるような画像データを無断でネット上にアップロードするのは肖像権の侵害等にあたります。



おわりに

授業スタートアップガイドはここで終わります。
少しでも皆さんの不安解消のお役に立てれば幸いです。
この続きにあたる「2021年度授業受講サポートガイド」には
遠隔授業を受ける際に役立つ情報が掲載されていますので、
そちらもぜひご活用ください。